

名 称	令和5年度 第3回 目黒区障害者自立支援協議会 本会議
日 時	令和6年3月1日（月）午後6時～午後8時
会 場	総合庁舎本館2階 大会議室
会議次第	1 開会 2 議題 （1）相談支援部会からの提言 （2）目黒区障害者自立支援協議会の体制等見直しについて 3 報告事項 4 その他 【今後の日程】 令和6年6月28日（金）午後6時～午後8時 目黒区総合庁舎本館4階 政策会議室 5 閉会
出席者	委員：岩崎委員（会長）、北本委員（副会長）、岸井委員、渥美委員、島添委員、田島委員、長谷委員、三木委員、内田委員、駒井委員、野村委員、白鳥委員、松原委員、江見委員、徳永委員、阿部委員、八崎委員、齋藤委員（保健予防課長）、田中委員（障害施策推進課長）、山内委員（教育支援課長）、佐藤委員（子育て支援課長） その他区職員：橋本（健康福祉部長）、田邊（健康福祉計画課長）、浅野（身体障害者相談係長）、石田（知的障害者相談係長）、田所（精神・難病係長）、長谷川（発達支援係長） 事務局：小野（計画推進係長）、渡邊（計画推進係）、横川・岡村（基幹相談支援センター）
欠席者	池田委員、村松委員、重盛委員
配布資料	資料1：相談支援部会からの提言について 資料2：協議会見直しのポイントと各部会からの意見 資料3－1：令和5年度「めぐろふれあいフェスティバル」の開催について 資料3－2：イベント実行委員の活動報告について 資料4：各専門部会からの報告事項 資料5：目黒区障害者計画(第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画)改定案について 資料6：目黒区障害者自立支援協議会の位置づけについて 参考資料1：自立支援協議会の運営等の見直し関係資料（国資料） 参考資料2：自立支援協議会の運営等の見直し関係資料（国資料） 参考資料3：障害児通所支援に関する検討会報告書 概要（国資料）
会議内容	1 開会 会長より開会あいさつ。 事務局より配布資料確認。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会長</div> 本日、傍聴申請がある。協議会の公開について異議はあるか。 異議等ないため傍聴を許可する。 傍聴者入室  2 議題 （1）相談支援部会からの提言について 相談支援部会より資料1に沿って説明を行った。

**会長**

こちらの取扱いについて、事務局から説明をお願いします。

**事務局**

説明にあったように計画相談のニーズに対し、相談支援専門員が不足していることは区としても大きな課題として認識している。障害者計画においても相談支援事業所の人材確保に向けた取組を掲げて進めている。区としても提言を受けて具体的にどのようなことができるか検討し、自立支援協議会に報告させていただきたい。

**会長**

承知した。委員より意見・質問を求めたい。

**委員**

高齢者問題も兼ねて相談支援専門員がケアマネージャーと兼務していわゆるハイブリット型で対応していくことも議論されている中で、立ち位置や介護事業所連絡会へのアプローチはどのようにしていくのか。

**相談支援部会**

相談支援専門員の希望者がいない。新しく入職しても相談支援の経験が無い職員だと経験を積んでから研修へ参加してもらうこともある。ケアマネージャーと相談支援専門員を両方できると利用者にとっても利益になるが、両方ともできる人ばかりではない。ケアマネージャーと相談支援専門員で1人の人を支援することが多い。

介護分野との連携は強く必要性を感じている。今年度は基幹相談支援センターが包括支援センターを招いて研修・交流の機会を作った。実際に連携を図るための研修依頼を受けることもあり、ケアマネージャーも相談支援専門員との連携が必要だと感じられているようである。

**委員**

委託事業所への委託費では、運営が難しいのか。

**相談支援部会**

自立支援給付費のみでは運営が難しいという意味である。いわゆる基本相談と言われる給付費が発生しない業務負担の問題が関係している。自立支援給付のみで運営できる事が本来のあべき姿であると感じている。

**会長**

他に意見・質問のある委員はいるか。

**委員**

実働に見合った報酬の話が出ていたが、この分野において意見交換する場はあるか、あるいは一方的に厚生労働省からの通達になるのか。

**会長**

保険診療と同じように3年ごとに改訂をしている。その時には団体ヒアリングがあり、事業者や医師会など様々な団体が呼ばれている。その中で意見を交わして議論している。今回の改定では以前と比較し基本報酬が上がっている。ただ、この基本報酬が上がっただけで足りているのかは別の問題である。仕組みとして複数名専従の主任相談支援専門員等が配置されていれば良いが、小規模の事業所では報酬改定の恩恵を受けることは難しいと思われる。

**委員**

算定要件があるという事か。

#### 相談支援部会

基本報酬の改定は、支援の質の高い相談支援事業所に対する評価である。算定要件を満たさない事業者は報酬が上がらない。また、加算評価を受けることができてその反面、事務作業も増えることで人件費が増え、加算のメリットを失ってしまうという面もある。そういった実態を含めて提言したICTの活用が効率的だと考えている。

#### 会長

報酬改定は、事業所の規模や引き受けている機能など条件によって変わってきている。小規模な事業所は引き続き運営が厳しいという現状は変わらない。

#### 副会長

区の方でも提言について検討するという事だが、相談支援部会からも現実的に実施可能なご提案いただいた。提言にある中長期的な視点は区の動きとは別に自分たち相談支援部会でできることからやるという意味か。またはこのような動きをするので、区の方にサポートやバックアップをお願いしたいという意味合いで書いたのか。

#### 相談支援部会

相談支援部会の中でも検討し、まず我々ができることに取り組んでみるが、できない部分は区の支援をいただきたい。中長期的な流れについては、我々が普段の業務の中で実施できる現実的な範囲で記載した。本来ならば頻繁に内容を深く検討することが好ましいが、より現実的なものを考えていくなかで分割した提案となった。

#### 副会長

出した提案については、できるところから少しずつでも進め、区の協力を得ながら実現していただければ良いと思う。すぐ全てが実現できるとは限らないが、話し合いの中で、より現実的な内容が見えると思われる。

#### 会長

提言内容は相談支援専門員に限ったことではなく、福祉人材そのものが非常に不足している現状の中で、相談支援部会としては相談支援専門員に焦点を当てている。福祉全体でも大きな問題である。

#### 副会長

区の協力を得ようとする場合、1つの所管で対応できるとは限らないことも多くある。人材不足の問題は福祉全体を通して同様な問題であるので、分野横断的にすることや、高齢分野と障害分野は似た部分もあるので合わせて考えることもできる。関係機関との話し合いを深め、より良い方向性を考えていただきたい。

(2) 目黒区障害者自立支援協議会の体制等見直しについて  
事務局より資料2に沿って説明を行った。

#### 会長

各専門部会から現在までの検討状況の報告をお願いする。

#### 高齢化・グループホーム対策部会

今年度最後の部会で今までのまとめや今後の部会の進め方について話をした。これまで活動が断続的であった部会の立て直しを図ってきたが、まだ十分な検討や課題が集約される状況には無い。部会のメンバーもかなり変わってきている中で。部会内で意見交換や情報共有を語る

ことができるよう、来年度に向けた方向性をまとめているところである。

#### **一般就労部会**

体制見直し案については、部会内で確認が取れている。一般就労部会は、事例検討や新しく制度が変わっていくときの情報や知識を提供することがある。部会員は現在の活動方法を継続していくことで合意しているため、自立支援協議会の体制見直しにより連絡会という位置づけに移行しても自立支援協議会への課題提起等は可能である。

#### **施設就労部会**

今までは部会員の情報共有が主だったが、基幹相談支援センターが各事業所で何が課題として取り上げられているのか情報収集に協力してくれる予定なので、各事業所が今抱えている課題が話し合えれば、次年度の方向性が見えていくと思われる。しかし、各事業所の人事異動の影響を受ける可能性があるので、継続性については今の段階では何とも言えない。これまで通り情報共有ができていけば良いと考えている。

以上です。

#### **意思疎通支援部会**

意思疎通支援部会は様々な障害種別の部会員で構成されている。部会員同士が繋がりを持つことができる形で存在していきたいとの声が挙がっている。

#### **会長**

意思疎通支援部会は連絡会という新たな形に移行するというところでよろしいか。

#### **意思疎通支援部会**

問題ない。

#### **防災部会**

国の方針と区の方針を踏まえ、色々な団体と協力をしながら啓発活動をしていこうと考えている。

#### **会長**

子ども部会から意見をいただきたい。

#### **事務局**

本日子ども部会の委員が欠席しているため、検討状況については事務局から報告をする。様々な分野の方が参加している子ども部会は、困難ケース等に関して事例検討等を通じて多くの課題が出ている状況である。しかし、出てきた課題をまとめ、協議会の場で議論を行うことができる状態までの整理は行うことができていない。今後どのように部会で課題抽出や整理を行っていくか、現在検討をしている。部会の活動が部会員の負担とならない工夫も今後は重点的に検討していく。

#### **会長**

これをもって相談支援部会と子ども部会以外の専門部会が連絡会という位置付けへ変わる。体制移行後であっても、自立支援協議会本会に提起すべき課題があれば、運営会議を経て提起することが保障されているものである。

### **(3) その他報告事項**

ア 令和5年度「めぐろふれあいフェスティバル」の開催について  
事務局から資料 3-1 に沿って報告を行った。

イ イベント実行委員の活動報告について

イベント委員代表者から資料 3-2 に沿って報告を行った。

ウ 専門部会からの報告事項

**相談支援部会**

事業所の情報や個別の事例を検討するケースレビューを実施した。これは有益な情報を交換できる場でもあるため今後も継続していきたい。現在、令和 6 年度の活動内容を検討しており、取組ごとに班を設けて実施していく事も考えている。また、自立支援協議会への課題提起だけでなく、従前からの取組である情報共有等も継続していきたい。

**高齢化・グループホーム対策部会**

来年度の運営について、日程調整や役割を分担できるよう部会員の増員やその他の要望や提案が行われているため、活発な活動ができることを期待している。

**一般就労部会**

一般就労部会はハローワークや国の支援機関など目黒区内の事業所に限らず参加している。そのため、幅広い情報が得られる形になっているため、そのような特徴を活かして活動したいと考えている。

**施設就労部会**

資料 4 の通り。

**子ども部会**

資料 4 に沿って事務局より説明した。

不登校児の支援など学校機関との連携の難しさ、医療的ケア児の課題や社会資源不足など様々な課題を認識している。その他人材育成や切れ目のない支援のための多職種連携についても課題と認識している。

**会長**

不登校児の対応や保育所等訪問支援の対応について、教育の現状を知る場をどのように持てば良いかについて。区から回答は可能か。

**教育支援課長**

令和 4 年度の不登校児童生徒数は、小中合わせて 30 万人を超え過去最高となっており、不登校対策は教育の中でも重要な課題となっている。不登校自体は悪いことではなく、誰でも不登校というのは起こり得るものであるとの理解も進んでいる。その中で保護者のケアも大切となっている。また、不登校児童生徒の居場所を増やす事も必要になってくるため、区有施設を活用して取組を進めていく予定である。

**障害施策推進課長**

保育所等訪問支援は利用希望者が増えてきている。そこで、教職員及び事業者に向けて保育所等訪問支援の手引を作成し周知した。学校現場と支援者の想いや家族の気持ちが上手く噛み合うよう、理解を深めていけるように進めていきたい。

**意思疎通支援部会**

部会員間での意思疎通が難しいことがあるが、“繋がり”を大切にし、活動していきたい。

**防災部会**

今後 B C P の策定について検討をしていく予定である。また、活動メンバーの増員なども検討し、様々な角度から意見交換を行うことができるよう取組を進めていきたい。

(4) 区からの報告事項

ア 目黒区障害者計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）改定案について事務局より資料5に沿って説明を行った。

イ 目黒区障害者自立支援協議会の位置づけについて事務局より資料6に沿って説明を行った。

(5) その他

**委員**

自立支援協議会の体制のポイントは子ども部会が明確に位置付けられている事である。子ども部会で取り上げる課題は、いずれ成人の問題へと直結するため、子ども部会の議論が将来においても影響してくることとなる。目黒区以外の会議に出席しているなかで目黒区の取組を紹介した。また、自立支援協議会の位置付けが付属機関化するという事で、協議会での議論は重要性を増すことになると感じている。

**副会長**

協議会としての活動を地域の住民等を巻き込み発信のきっかけとして協働することができればよいと考える。ある施設は災害部会でDIG訓練を地域の方と実施して成功した例がある。地域の方を巻き込んで取組を実施することで、自立支援協議会や障害者支援施設の認知度を高め、将来の人材確保に繋がる可能性もある。閉鎖的ではない部会運営などを心掛けることが大切ではないか。

**会長**

事務局より今後の予定について説明をお願いしたい。

**事務局**

令和6年5月22日（水）に会長・副会長・各専門部会長をメンバーとした運営会議を実施する。本日議論された内容について再度検討し、令和6年度第1回本会議へ諮ることとなる。令和6年度第1回本会議の日程については、令和6年6月28日（金）の午後6時から午後8時までを予定している。開催場所は、目黒区総合庁舎本館4階政策会議室を予定している。詳細については、決まり次第連絡する。

4 閉会